

平成23年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

<お知らせ> 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

奇形葉モザイク病(パパイア)

病原ウイルス : Papaya leaf distortion mosaic virus (PLDMV)
Papaya ringspot virus-P (PRSV-P)



葉のモザイクと奇形症状

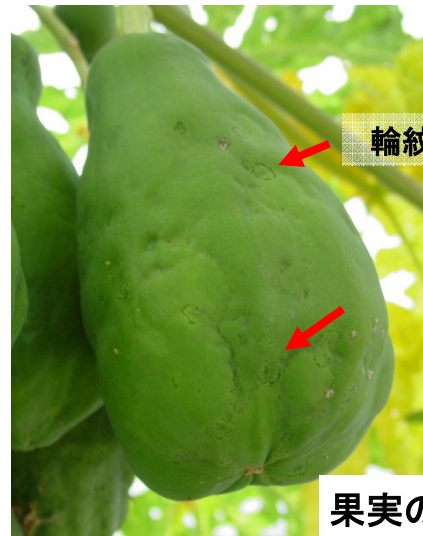


葉のモザイク症状



葉柄の水浸症状

茎の水浸症状



輪紋症状

果実の奇形

生態と被害

葉に葉脈の透過、モザイク、奇形などの症状が現れる。葉柄や茎には、水浸状のしみ、果実には、輪紋や凹凸を伴う奇形症状が現れる。病徴によって、病原ウイルスを区別することは困難であるが、両ウイルスともPotyvirusグループに属し、700~800nmのひも状、汁液伝染し、アブラムシ類によって非永続的に伝搬される。種子伝染はしない。宿主範囲は、実験的にはパパイアの外、ウリ科植物も認められるが、野外から分離されるのはパパイアのみである。両ウイルスの区別は、血清学的診断、PCRなど遺伝子検定によって可能である。世界的には、パパイアの生産地ではPRSV-Pの発生が多いが、沖縄では、PLDMVの発生が多い。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>